

# 「死にたい私」と向き合う

Death *Life* *live*  
talk

2023  
11/23 15:00~17:00  
木・祝

オンライン・対面 ハイブリッド開催

参加無料 / 定員対面 100名・オンライン 500名

会場 / 滋賀県庁 東館 7階 大会議室  
(大津市京町4丁目1-1 / JR大津駅から徒歩5分)



ゲストスピーカー  
文筆家

土門 蘭さん

ファシリテーター

上田 洋平さん (滋賀県立大学 講師)

三日月大造 (滋賀県知事)

対象 / 県内外在住問わず、どなたでもご参加いただけます。

「死」や「生」について話す場は、いま、多くはありません。

誰もが避けられない「死」と向き合い、限りある「生」をどう捉えるか、

そうした根源的なテーマを真正面から考え、自らの弱さや他者を理解し、

みんながつながりを持って生きていくことの大切さを認め合う...

「死生懇話会」は、より豊かに生きるためのヒントを得ようとする場です。

# “死生懇話会” とは

滋賀県では、多死社会を迎える中、誰もが避けられない「死」について、行政として、真正面から考えることで、「生」をより一層充実させる施策につなげる契機とするために、令和2年度に有識者による「死生懇話会」を設置し、様々な角度から議論を深めてきました。

今年度は多様な切り口から「死」や「生」について一緒に考え、対話を深める「死生懇話会サロン」とゲストスピーカーをお招きし、御講演をしていただく聴講形式の「死生懇話会トークライブ」を合わせて7回開催します。皆様の御参加を心よりお待ちしております。

▼これまでの「死生懇話会」の内容は下記の二次元コードから御確認いただけます。



## 出演者プロフィール



ゲストスピーカー

土門 蘭さん 文筆家

文筆家。1985年広島県生まれ。小説・短歌などの文芸作品や、インタビュー記事の執筆を行う。著書に歌画集『100年後あなたもわたしもいない日に』（寺田マユミ氏との共著）、インタビュー集『経営者の孤独。』、小説『戦争と五人の女』、エッセイ『そもそも交換日記』（桜林直子氏との共著）がある。2023年4月には、2年間の自身のカウンセリングの記録を綴ったエッセイ『死ぬまで生きる日記』を上梓。



ファシリテーター

上田 洋平さん 滋賀県立大学  
地域共生センター 講師

滋賀県立大学卒業（1期生）。滋賀県立大学大学院人間化学研究科地域文化化学専攻博士課程単位取得退学。専門は地域文化化学・まちづくり。風土に根ざした暮らしと文化の研究と実践に取り組む一方、地域と連携した人材育成や「地域共育」プログラムの開発も手掛ける。住民が協力し合って地域の暮らしの物語を「屏風絵」として描き上げるまちづくりの手法「心象図法」を開発。



三日月 大造 滋賀県知事

1971年生まれ。滋賀県出身。1994年、一橋大学経済学部卒業後、西日本旅客鉄道株式会社に入社。2002年4月（財）松下政経塾入塾。2003年11月に衆議院議員初当選し、以降4期連続で衆議院議員を務めた。2014年7月滋賀県知事に就任。現在3期目。2020年12月に「死」について真正面から考えることで限りある「生」を考える「死生懇話会」を立ち上げた。2022年12月関西広域連合長に就任。次世代を担う子ども・若者と共に歩み、誰もが幸せを実感できる“健康しが”に向け取り組んでいる。

## お申し込み方法

1 右記二次元コードまたはURLより専用申込フォームに必要事項をご記入ください。

<https://shiga2030.jp/>

2 ご記入いただいたメールアドレスに「申込完了メール」をお送りしますのでご確認ください。



申込期限 / 2023年11月19日（日）23:59 まで

※定員を上回った時点で申込を締め切る場合がございます。

## 今後のご案内

今後も、対話を深める「死生懇話会サロン」とゲストスピーカーをお招きし、御講演をしていただく聴講形式の「死生懇話会トークライブ」を開催します。

詳細は、滋賀県公式ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/316588.html> で更新予定です。

